

## ○サンドスタチン皮下注用 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 オクトレオチド酢酸塩 (U) octreotide acetate 【分類】 持続性ソマトスタチンアナログ製剤

【単位】 ▼50 $\mu$ g・○100 $\mu$ g/A [1mL]

【常用量】 ■消化管ホルモン産生腫瘍、先端巨大症・下垂体性巨人症：100～150 $\mu$ g/日より開始し、効果が不十分な場合は300 $\mu$ g/日まで漸増■進行・再発癌患者の緩和医療における消化管閉塞に伴う消化器症状の改善：300 $\mu$ g/日 24hr 持続皮下注

【用法】 皮下注（適用症により 2～3 回/日もしくは持続皮下注）

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【特徴】 生体内で安定な構造に改変したソマトスタチンアナログ。成長ホルモン分泌抑制因子として発見され、視床下部、膵臓 D 細胞、消化管等に分布し、下垂体における成長ホルモン、TSH 分泌抑制、消化管でのガストリン、VIP、セクレチン、膵臓でのグルカゴン、インスリンなど種々のホルモン分泌の抑制作用を有し、消化管運動抑制など多岐的作用を有する。

【主な副作用・毒性】 アナフィラキシー、徐脈、消化器症状、肝障害など

【F】 100% [sc] (1) 消化管からは吸収されない (11)

【tmax】 0.6hr (1)

【代謝】 ペプチドの分解により代謝 (ラット) (1) 不明 (11)

【排泄】 尿中未変化体排泄率約 32% [8hr まで] (1) 11% (11) 【CL】 160mL/min (1) 11.4L/hr (11)

【t1/2】 1.8hr (1) 72～98min [iv], 88～113min [sc] (11) 1.7hr [sc] (U)  $\alpha$  相 10min,  $\beta$  相 90min [iv] (U) 高齢者や透析患者では 1.5 倍程度に延長 (U)

【蛋白結合率】 65% (1,11,U) 末梢肥大症患者で 41.2% (U)

【Vd】 0.27L/kg (1,11)

【MW】 1139.34

【透析性】 データなし (1)

【O/W 係数】 0.12 [1-オクタノール/buffer, pH6.8] (1)

【更新日】 20140507

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。